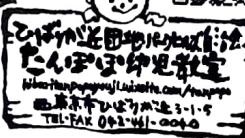


「のひる」は、「んばほ」特色ある保育の様子を広く知るためにもううために  
在園児の母たちが手づくりしている広報誌です。パーカンバーは  
ホームページにてご覧いただけます。ホームページはコチラ



## 保育が大切にしていることはありますか?

子どもの気持ちに寄り添うこと。

子どもたちが安心して過ごせるよう笑顔で接することには掛けています。

子どもには「大きくなりたい」という普通的な願いがあると思うので、

大切にしている特集三

## やでたけたん園の先生(まきまし)た

ようになりたい等、その気持ちを育んでいきたと見て、います。

ひとりひとり違う素敵なお顔を見つけて伸びていけたらと見ています。そしてたくさん大人に愛されていることを、幼稚園へたんぱほで感じてほしいです。

## 保育の中で好きな時間は?

おひるの時間が好きです。

自然とふれたり歩きながらおしゃべりしたり、行き先の公園で遊ぶことはとても楽しいです。

子どもたちの元気な歌声をきいてる時。朝、静かな教室が、ワクワクにぎやかになっていく時間。

課題やテーマに全員でとりくむ時。

そのうらしく楽しく過ごせるよう安心してから「安全」な場所でありますように心掛けているま。

なるべく子どもたちの話を聞くこと。

また時や良いところ、頑張った時にたくさんのほめることを心掛けているま。

子どもたちひとりひとりの「今どんな

顔」を見つけています。

子どもたちひとりひとりの「今どんな

顔」を見つけています。

間がありが必要が「そ」と見守た

ほうがいいが「どんな声か」で

するところが「楽しさ・うれしさ・意欲

につながるか」考えて関わること

を大切にしています。

ベテランの先生たちと、子ども

たちの日々の成長の手助けが

一方で、自由な遊び時間も

好きです。各々、好きなことを

楽しんでいる子の表情は、

見ていれば落ち着きます。

もちろんクラスのみんなの時間。

小さなおでとおでで、上半身

おいしそうに食べているのを

見るのが好きです。

読み聞かせの時間です。

最初は落ち着かない子も、

## 保育目標

みんなと遊ぶ子

思いやり遊ぶ子

友だちと一緒に遊ぶ

自分のことは自分でする

自分たちで大切にする

多い体験を大切に重ねる

できるよう、自己アリ

い書きなどに掛けてい

ます。年齢ごとに

いや行動を理解し、

子どもの学び、いる力を

伸ばせるお手伝いが

できれば、と思っています。



どんどんお話を引き込み、夢中になってしまふ見る時間が好きです。

ナーリ、ピク拉斯の障園

の時間。おうちの人

顔を見たとき、子どもたちの木のした顔。

うれしい顔を見たのが好き

です。やっぱりママやパパ

には勝てません。

## たんぱほの好きなところ、自慢できるところは? \*



いつでもどんこができる、園舎も古く、おもしろい  
いつでも虫や季節の草花は、歷史を感じる物もありました。  
触れられて、古い物でも大切にして

いいよいよ、思いっきり遊べること。いつでも卒園した子が、  
園庭でもお散歩で、おもむろにいけるところ。  
自然とたくさんかわいがります。子どもが子どもらしく、  
過ごせること。

保育者が子育ての支援者

ばかりの子で、預けいたく

のに安心してもらえたのです。

個性を大切にしながら

本業のまちつきや、

セタの整理やしなどの伝統行事、

親なしの退出の散歩や、

山登りなどの貴重な経験

かけさせること。

みんなのキャラクタの笑顔

子ども達の笑顔、笑い声が

絶えないところ。

たんぱほや子どもたちのことを想って色々なことをしてくださって

いる、お母さんたちのこと。

子どものために、親も職員も

一緒に力を合わせること。

違う子どもたちが、みんなの喜びとなるところ。

卒園児、おうちの方た

「たんぱほが好き。楽しかった」と思って、(ハイタッチ等)

離れてても恋愛してくれること。

大切にしている「子どもファースト」など。

卒園児もみんなたんぱほが大きさで集まってくれたところ。

保育のやりがいを感じる瞬間や、喜びは? \*

あんなだったな、こんなだったな、

子どももすばらしい!

一年間の成長を感じるとき。

日々、心身ともに成長している

姿はたのしく、保育に

一言と笑顔アレントは

かわるこころから喜びる

勝利。たんぱほは長く子供の

成長を見守るこ

とで、子どもたちがふとしたときに

うれしいです。

「たのしいわー」と言

てくれること。

私の想像を超える作品や遊びを生み出した時や、

お友だちや先生に対して思ひやりのある子だけで

してくれたときには、

感心と喜びと嬉しさと成長を感じます。

卒園後、大きくなったらまた

パクリ会でサマブリ、

元気な3歳子でまたと

絵本や故郷居て、子どもたちが楽しんで聴いてくれたとき。